

ランチョンセミナー11

11月16日（日）11:30-12:30 第5会場（3F 中会議室 301A）

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

Aplio i800 / beyond ではじめる腹部・表在エコーの基礎と実践

①腹部ルーチン検査に於ける基本から新技術の活用について（松田）

②伝わる表在エコーを目指して — Aplio でのひと工夫（式田）

座長：中野 英貴（総合守谷第一病院 検査科）

演者：松田美津子（福島県立医科大学付属病院 検査部）

：式田 秀美（埼玉医科大学国際医療センター 中央検査部）

近年開発された SWE(Shear Wave Elastography)、ATI(Attenuation Imaging)、SMI(Superb Micro-vascular Imaging)などの新技術は、これまで術者依存性の強かった所見を客観的に評価することが可能となり、超音波検査精度を格段に向上させた。本セミナーでは、新製品 Aplio beyond や Aplio i-series / Prism Edition を活用した、腹部エコーの基礎と表在エコーの基礎について解説する。

腹部エコーの基礎では、日々のルーチン検査に於いて拾い上げ感度を高める描出方法を解説する。さらに新技術の活用について症例を交えて紹介する。

表在エコーの基礎では、甲状腺エコー、乳腺エコーの描出方法を中心に、実臨床で活用できるアプローチを解説する。また、Elastography、SMI を活用した症例を提示し検討する。